



仙高の風

令和4年1月27日発行 第10号

自治活動
運動部員が率
先して雪掻き



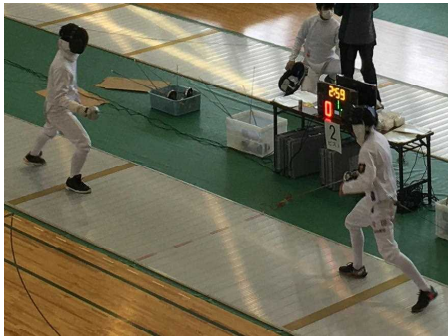
◆**新年、明けましておめでとうございます。** 1月7日、新年はじめの登校日。全校生徒による大掃除を行った後、放送による全校集会を行いました。年初の校長講話で岩井誠校長は、「PDCAサイクルで高い効果が得られる学びをしてください。そしてその



学びを学校に還元してください。この2つのサイクルをセットにしてプラスのスパイラルをつくり出し、だれかのため、クラスのため、学校のため、ひいては社会のためにつなげていこう。これが仙高スタイルです。／新たな変異株にはこれまでに以上に対策を徹底しましょう。(抜粋)」と述べられました。杉内浩幸進路指導部長は『仙高進路だより』のトピックに触れられ、「長期目標・中期目標・短期目標を設定するのが、継続的に目標に向かって突き進む秘訣です。／ワンポイントアドバイスですが、英語の資格を入試に取入れる私立大学が増えています。取得した資格も活用できる有効期間は2年間ですので、取得する時期も重要となります。」など、各年次生に向けお話をしました。



◆第46回全国高校選抜フェンシング大会 北海道・東北予選会(団体戦) 第2位：仙台高校！



宮城県代表として出場した仙台高校男子団体エペチームは、青森代表に惜敗しましたが、見事第2位で、全国大会出場を決めました。(選手と戦績は以下)
和田知祥(2年)・中田奈津樹(2年)
松浦權斗(2年)・笠原琉希(2年)・阿部誠貴(2年)
仙 台 45-43 大野農業(北海道代表)
仙 台 45-31 山 形 東(山形県代表)
仙 台 38-43 黒 石(青森県代表)
1位 黒 石(青森県代表)
2位 仙 台(宮城県代表) 川俣町体育館にて⇒



この度、全国大会出場を決めたフェンシング部エペチームリーダーの和田知祥さん(2年)に聞きました。

大会当日のチーム(5人)の様子は？「緊張で音楽を聴いてリラックスしようしているメンバーなど様々でした。」「自分達らしさ」とは？「緊張しながらも、自分の得意技や個性を発揮できる場所です。」どの試合が最も厳しい戦いでしたか？「緒戦の北海道代表大野農業高校との試合で、序盤から中盤までリードされてしまい、内心“負け”だと思ったとき、メンバーの一人が逆転とはいかなかったものの、相手との差を1点までに詰めてくれたことにより最後に逆転勝利することができました。」全国を決めた時の皆の様子を教えてください。「少し安心したものの、まだ試合が残っていたため、まずはその試合に勝利していい順位でこの予選を通過しようと気持ちを切り換えて試合に臨みました。」全国へ向けて、どんなことにチャレンジしますか？「新しい技への挑戦も良いと思いますが、今できる技を磨き、全国でも通用する技にしていきたいです。」



第46回全国高校選抜フェンシング大会は、令和4年3月25～27日に熊本県立総合体育館で開催される予定です。

新人大会等続報！

弓道部 1/22、第21回東日本高等学校弓道大会宮城県予選会が行われ、参加17校中第2位となり、来月開催が予定されている本大会への出場権を獲得しました！

種目：近的競技(立射 的中制) 種類：団体競技(5人制)
高見俊介(2年)、藤木新(2年)、鈴木宏大(2年)
佐伯慧汰(2年)、関本真那斗(2年)

全国大会は令和4年3月19～21日：山梨県甲府市「小瀬スポーツ公園 武道館アリーナ特設弓道場」を会場に行われる予定です。

バスケットボール男子 1/22から開催の宮城県高等学校新人バスケットボール大会において、本校男子バスケットボール部はベスト8(2年ぶり)となりました。第5位を決める試合が中止となったため残念ながらベスト8確定。



大学入学共通テストにいざ！

1月14日、共通テストを前日に控えた3年生が、学年・進路指導部主催の「共通テスト説明会」に参加しました。岩井誠校長から「気負わず、最後の一秒まで全力で。あくまで前向きに、そして心では大丈夫を！」と激励されました。杉内浩幸進路部長から「自分

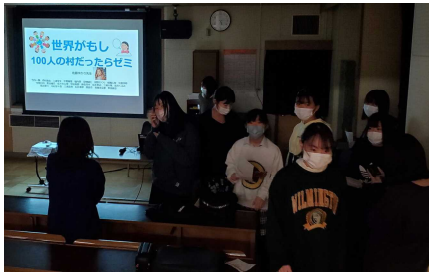


らしく臨んでください。本番でしか出せない力がある。出来なかったことが出来る日に！」安田良江3学年主任からは「部活も受験勉強も練習は本番のように、本番は練習のようにとやりました。自分を落ち着かせて、一問一問を精一杯解いてきてください。3学年通信特別号には学年の先生方からのメッセージを載せました。」コツコツ頑張る仙高生!サクラ咲くよう、皆で気持ちを合わせ健闘を誓いました。←安田3学年主任



◆1学年「フェニックスゼミ発表会」を開催しました

1月20日、この1年間で進めてきた探究活動の総括である「フェニックスゼミ全体発表会」を行いました。今年度は16講座に分かれ、各ゼミの分野毎SDGsへ関連付けた探究を行ってきました。今回の発表会はパワーポイントを用いた発表の様子を事前に録画し、各教室にて視聴する形で実施。生徒達は各ゼミの発表を食い入るように視聴し、SDGsへの関心の高まりと理解の深化が見て取れました。



最優秀賞は「世界がもし100人の村だったら」ゼミ(佐藤ゆかり教諭指導、生徒24人)でした。発表用動画撮影は3日間に分けて行いました。

▼表彰に先立ち、中村淳教頭より講評がありました。「各ゼミ、甲乙付けがたい素晴らしい探究活動でした。また、グローバルな課題に身近なテーマから取り組み素晴らしい成果でした。これからはSDGsの視点を持って世の中を観て、感じて、深く掘り下げて、考えて成長して欲しい。今後もしっかりと将来の自分づくりをしてください！」と述べられました。

◆1学年「SDGsフォーラム」を実施しました。

1月13日、1学年でSDGsフォーラムを開催しました。講師に畠山茂陽様(河北新報社 営業局営業部主任)をお招きし講演をいただきました。全体講話に加え「新聞ワークショップ」では、社会に目を向ける素養を養い、SDGsへの関心を一層高めていただきました。



◆令和3年度みやぎ高校生フォーラム(教育委員会主催)

に参加「私たちの志と地域貢献」をテーマに宮城の高校生が本校の活動を紹介し合い、自らが社会で果たすべき役割を考えると、本校が積極的に推進している「自分づくり教育」に触れながら、地域の皆様との諸活動についても紹介しています。新型コロナウイルス



感染拡大防止のため動画による発表となります。←ポスター発表動画を制作する生徒会執行部

◆2学年ホームルーム研修旅行発表会に向けて、各クラス準備着々。

11月に実施した「2学年ホームルーム研修旅行」での学びを発表会で披露します。例年は外部の方々にも案内をし参観いただく行事ですが、新型コロナウイルス拡大防止の観点から規模を縮小します。教頭先生他4名の先生方が審査員となり、「SDGs研究の深まり」などの観点で評価をし各種賞を決定・表彰します。



◆寄贈～校長室にて 11月25日、本校旧職員の板見潤一様から、本校卒業生、櫻井理(さとる)さんの追悼・遺稿集「車椅子のMes



senger」が寄贈されました。櫻井さんは6歳の時に進行性筋ジストロフィーと診断され、以後徐々に動かなくなっていく身体に不安を抱えながらも、本校に入学・卒業し、その後も筋ジストロフィー協会の宮城県支部長などを務めるなど、障がい者福祉の世界に多大な貢献をしました。令和2年11月10日に45歳の若さでお亡くなりになりましたが、その功績を残したいと、多くの方々から寄せられた追悼文と遺稿の数々をまとめた文集が作られました。板見様は高校3年時の担任でしたが、車椅子をクラスメイトで担ぎながら登ったHR研修旅行での金比羅参りや、運動会の全員リレーで、彼が乗る車椅子の背もたれに「追い越し禁止」のシールが貼ってあった思い出などを話してくださいました。櫻井さんのモットーは「まず動き、そして新たな道を拓いていく」でした。文集には、身体のハンディを物ともせずアグレッシブに活動するところや、SNS等をフル活用して多くの人を巻き込みながらつながっていく様子が詳しく書かれています。あらためてその一途な生き方に敬意を感じずにはいられません。ご冥福をお祈りいたします。

◆2学年「SDGsフォーラム」を実施しました。

1月7日、2学年でSDGsフォーラムを開催しました。株式会社ライセンスアカデミーより6名の講師を派遣いただき、12月に実施したホームルーム研修旅行における各クラスのテーマをもとに、SDGsに関連付けた考察の仕方を講演いただきました。後半は、各クラスの自主研修班ごとの中間発表も行い、SDGsへの考えを深めている様子でした。



◆スキルアップ講習会開催

12月28日、「英語」、「数学」、「国語」の3教科で、河合塾仙台校から講師の先生方をお招きして、冬休み特別講座『スキルアップ講習会』を実施しました。実際に生徒への授業を行っていただき、その授業を本校教員や他校から参加された先生方が参観しました。授業後には意見交換会など、学力向上のための授業について研修を行い、大変熱気溢れる講習会となりました。



←事前に発表用動画を撮影しました。

仙台高等学校 仙台市青葉区国見 6-52-1
Tel 022-271-4471 担当:主幹教諭 板橋俊文
URL <http://www.sendai-c.ed.jp/~sendaihs/>
『仙高の風』バックナンバーはホームページからもご覧いただけます。